

6 きょう土を開く C 13 時間完了 教科書(p84~113) 副読本(p125~152)

担当名(豊南小 内藤吉博)

・6章「きょう土を開く」の単元は、副読本を中心に指導する。ここでは、3つの指導計画を提示。Aは1つの題材を中心とする展開例、Bは1題材に重点を置き残りは軽く扱う展開例、Cは複数の題材を平等に扱う展開例で、この指導計画はCの扱いである。(Aの場合の評価テストは、自作テストがのぞましい。)

指導計画

	東京書籍	副読本「かがやく豊橋」
	本時の学習	おもな学習活動 ・ 内容 ◇指導上の留意点
つ か	①地域の歴史にふれよう p84~87 (1時間) (副) ①地域の歴史を伝えるもの p125~126 (1時間)	○おもな学習活動 ・ 内容 ●p125~126の写真を見て、気づいたことを発表する。 ・豊橋は糸の町とか軍隊の町とよばれていたんだ。 ・豊川用水のほかに牟呂用水というものもあるよ。 ・豊橋港が大きくなって三河港になったらしいよ。 ・昔の市電は広小路を走っていたんだね。
む	②川を横切る用水 p88~89(1時間) (副) ②学習問題づくり p127~148 (1時間)	●p127~148の内容をもとに、学習問題を設定する。 ・豊橋が糸の町とよばれるほど発展していたのはどうしてだろうか。 ・神野新田の開発では、どんな人たちがどのような活躍をしたのだろうか。 ・豊川用水はどうしてつくられ、豊橋の発展にどんな役割をはたしたのだろうか。
調 べ る	③村人たちの願い p90~91 ④⑤博物館で調べる p92~93 (3時間) (副) ③④⑤学習問題について調べよう p131~148 (複線化3時間)	●神野新田のかんたくと牟呂用水については、p131~136で調べる。 ●糸の町豊橋については、p137~142で調べる。 ●高師・天伯原の開たくと豊川用水については、p143~148で調べる。 ◇地域によっては、市電のうつりかわりや軍隊の町豊橋の内容を取り上げてもよい。 ◇ここではまだグループ化せずに、個人で調べる時間としたい。

調	<p>⑥大河原用水を伝える p94～95 (1時間) (副) ⑥⑦⑧発表の準備をしよう p131～148 (複線化3時間)</p>	<p>○博物館の見学メモやノートをもとに、発表用のカードに整理する。 ・取り入れ口には石を積み上げて水を分け、水門で水の量を調節した。 ・といを使ったり交差したり、水を分ける工夫で水を回している。 ・滝を使って、川に水を戻す工夫をしている。 ・坂本養川の生家は今も残っていて、地図や手紙も残されている。</p>	<p>●同じテーマを選んだ子たちがグループとなり、調べて分かったことを発表するための原稿作りや資料作りをする。 ・発表原稿はグループ内でよく吟味し、分担を決める。 ・見やすさ分かりやすさを考えながら、協力して資料作りをする。 ◇神野新田資料館、石川繊維資料館、多米民俗資料収蔵室、水の展示館などの見学を取り入れたり、パンフレットやインターネットからの資料を活用したりするのもよい。</p>
べ	<p>⑦大河原用水をさぐる p96～97 (1時間) (副) ⑨神野新田のかんたくと牟呂用水 p131～136 (1時間)</p>	<p>○発表用のカードをもとに、地図や写真も生かしながら、考えや感想も加えて発表する。 ○発表を聞き合って、疑問に思ったことやさらに調べたいことを整理する。 ・なぜ、川をこえて水を送る用水をつくる必要があったのか。 ・なぜ、もっと近くから水を引かなかったのか。</p>	<p>●神野新田のかんたくと牟呂用水についてまとめたグループの発表を聞き、話し合う。 ・毛利祥久の苦労や努力 (p 1 3 1～1 3 2) ・神野金之助の苦労や努力 (p 1 3 3～1 3 4) ・その後の神野新田の様子 (p 1 3 5～1 3 6) ◇発表者には、自分の考えや感想も加えて発表させる。聞き手にはメモ取りや質問をさせ、発表者から学ぶという姿勢でのぞませたい。</p>
る	<p>⑧くりこしぜきをつくる p98～99 (1時間) (副) ⑩糸の町豊橋 p137～142 (1時間)</p>	<p>○くりこしぜきの工夫や工事の実際について調べたことを発表し合う。 ・水の多い北部の川から、水を回していくしくみになっているんだ。 ・自分の村だけでなく地域全体のことを考え、用水をつくったんだ。 ・人の力とこれだけの道具で工事を進めるのは大変だったろうな。</p>	<p>●糸の町豊橋についてまとめたグループの発表を聞き、話し合う。 ・豊橋の製糸業のおこり (p 1 3 7～1 3 8) ・小淵志ちの工夫や努力 (p 1 3 9～1 4 0) ・その後の製糸業の発展とおとろえ (p 1 4 1～1 4 2) ◇新たな疑問についてはさらに追究させ、自力解決を促したい。</p>
	<p>⑨用水を開発して p100～101 (1時間) (副) ⑪高師・天伯原の開たくと豊川用水 p143～148 (1時間)</p>	<p>○15年をかけてつくられた用水によって、人々の暮らしはどう変わったのかを考え、話し合う。 ・用水により水田が広がったんだ。米のとれる量もぐっと増えた。 ・水争いや新田つぶしもなくなったはずだね。協力もできるようになったんじゃないかな。</p>	<p>●高師・天伯原の開たくと豊川用水についてまとめたグループの発表を聞き、話し合う。 ・あれ地を開たくする苦労や努力 (p 1 4 3～1 4 5) ・水への願いと豊川用水 (p 1 4 6～1 4 7) ・日本一の農業生産地へ (p 1 4 8)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 坂本養川がつくった用水は、今も使われているんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇現在でも市町村別農業生産額で、1位田原市2位豊橋市となっていることをおさえておきたい。
ま と め る ・	<p>⑩先人の足あと p102～103 (1時間) (副)</p> <p>⑫豊橋の戦後の ふっこう p149～150 (1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に残る先人の足跡を探し、先人の願いや努力について考える。 ・高速道路や建物は、すべて人がつくった。 ・白樺湖や蓼科湖も、現代の開発で人工的につくられた湖だよ。 ・人々は、よりよいくらしへの願いをもって、昔から自然に働きかけてきた。 	<p>●豊橋の戦後のふっこうの様子について、p149～150で調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工場の召致 (p149) ・豊橋産業文化大博覧会 (p150) <ul style="list-style-type: none"> ◇二川地区への大工場召致については、p129の豊橋市の広がりの資料とも関連づけてとらえさせたい。
い か す	<p>⑪⑫⑬学習のまとめ p104～105 (3時間) (副)</p> <p>⑬三河港付近の 発展の様子 P151～152 (1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学習したことを紙芝居にまとめ、発表する。 ・用水を開発した先人の働きや苦心によって人々の願いが実現し、地域が発展してきたこと。 ・わたしたちも、まちの発展について考えていきたい。 	<p>●三河港とその周辺の発展の様子について、p151～152で調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海工業地域の開発 ・三河港の発展の様子とその重要性 ・これからの豊橋の発展についての考え <ul style="list-style-type: none"> ◇p130の交通の発達の内容とも関連させてとらえさせたい。